



おじゃまします！ 地域**包**括 支援センターです。

■問合せ先 地域包括支援センター TEL 2・2707
防 2・1683

介護保険制度の 歴史について

介護保険制度とは、核家族化の進行や介護する家族の高齢化により、家庭内だけでは対応が難しくなった介護を地域や社会全体で支えること、介護が必要な方が自立した生活が送れるように支援することを目的として、平成12年4月にスタートしました。

寝たきりや認知症などの要介護高齢者の増加や介護

の長期化など、介護の必要性や重要性がますます高まり、介護する側の高齢化なども深刻な問題となっています。

必要に応じて 介護保険制度の利用を

65歳以上の方（第1号被保険者）は、市区町村（保険者）が実施する要介護認定において介護が必要と認定された場合、サービスを受けることができます。

40歳から64歳までの人（第2号被保険者）は、介護保険の対象となる特定疾病により介護が必要と認定された場合は、介護サービスを受けることができます。

●介護サービスの利用手順

- ①申請をする
 - ②認定調査を受ける
 - ③要介護認定審査判定
 - ④認定結果の通知
 - ⑤サービスの利用の開始
- サービスの利用には、在宅サービスと施設サービスがあります。



在宅で利用できるサービス

- ・通所介護（デイサービス）
- ・訪問介護（ホームヘルパー）
- ・訪問看護
- ・訪問リハビリテーション
- ・短期入所生活介護（ショートステイ）
- ・小規模多機能型居宅介護
- ・福祉用具貸与（歩行器、杖、据え置き手すりなど）
- ・特定福祉用具購入（入浴用いす、浴槽用手すり、腰掛け便座など）
- ・住宅改修

施設で利用できるサービス

- ・特別養護老人ホーム
- ・介護老人保健施設
- ・有料老人ホーム
- ・グループホーム（認知症対応型共同生活介護）

今後利用を検討されている方やサービスについて気になる方がいましたら地域包括支援センターまでお問い合わせください。

美深厚生病院からの お知らせ



带状疱疹

带状疱疹とは、身体の神経に沿って痛みを伴う発疹と水ぶくれが多数集まって帯状に生じる病気です。

合併症としては、皮膚症状が治った後に痛みが続く、顔や眼に発症すると視力低下や顔面神経麻痺が起こる、耳に発症すると耳鳴りや難聴が起こるなどがあります。

50歳を境に発症率は上昇し、70歳以上では1千人当たり10人以上が発症すると言われています。子どものころに水ぼうそうに感染したことがある方は、このウイルスに対する免疫を持っていると同時に症状のない

今もウイルスが身体の中で眠っている状態です。これが、加齢や疲労、ストレスなどによって免疫力が低下したときに带状疱疹が発症するといわれています。

带状疱疹の予防には、規則正しい生活や適度な運動、ストレスを抱え込まないなどが大切です。

その他に、50歳以上の方は带状疱疹ワクチンの予防接種を受けることができます。

当院で採用している「シングリックス」というワクチンで予防接種を受けると、带状疱疹の発生率が10年間で70〜90%減少したと報告されています。

予防接種を希望される方はご相談ください。

【問合せ先】

J A 美深厚生病院
TEL 2・1631

